

さらに詳しく（さらに深く、さらに広く）

なぜ在日朝鮮人には民族名（本名）と 日本名（通称名）があるの？

日本が朝鮮半島を植民地支配していたとき、支配を強めるために日本は朝鮮に対して皇民化政策を行いました。皇民化とは「天皇を戴く臣民」つまり日本人と同質の大日本帝国の国民となることを強制することです。具体的には、

- 日本語（国語）を徹底させるための教育を進める。
- 天皇崇拝、日本の神社参拝などを強要し、宮城遙拝（きゅうじょうようはい：日本や大東亜共栄圏において、皇居（宮城）の方向に向かって敬礼（遙拝、拝礼）する行為）を奨励する。
- 姓名を日本人と同じに改める。（創氏改名・・・日本式の氏名にすること）
- 志願兵制度、徴兵制度を導入、戦時動員体制を強化する。

などが行われました。この皇民化政策の一環として行われた創氏改名によって朝鮮人は、本名以外に日本名を持つことになりました。

日本の敗戦後、朝鮮は植民地支配から解放され「創氏改名」も廃止されましたが、日本で暮らし続けることになった人の中には、民族名（本名）で生活することに不安を感じる人が多くいました。貧困と差別の中で生き抜くために、日本式の名前を通称名として使わざるを得なかったのです。

また、かつて外国人登録証明書には通称名も記載されるようになっており、それは就職・就学・契約、さらに運転免許証などの公的書類に今も使用することが許可されています。日本政府は、在日朝鮮人に本名ではなく通称名を使用することを認め、日本で生活しやすいように配慮をしています。一方、外国人登録証明書、出入国関係書類、母国の戸籍など正式な書類には、民族名が使用されます。本人が日本名記入を希望しても、受理されません。本当に在日朝鮮人が生活しやすい社会にするためには、日本社会にある社会的差別、制度的差別を撤廃するといった大きな課題があるのが現状です。

このような日本社会で生活をしている在日朝鮮人の中にも様々な考え方の人がおり、生活している環境によっても名前の使い方は人それぞれ違います。民族名と日本名、どちらを名乗るかは、本人の選択であり、第三者が勝手に決めつけることができるものではありません。現在では、民族名を名乗って在日朝鮮人として堂々と生きていこうという動きがあり、民族名で生活している人も少しずつ増えています。子どもに民族名だけをつける人もいます。ただ、民族名を使うことで就職や入居、人間関係の中で差別を受けやすいという現実があります。それら差別を回避するための手段として通称名を選択する在日朝鮮人の姿があることも間違いありません。さらには世代を重ねる中で、生まれた時から日



本名しか使用したことがない人もたくさんいます。

日本社会の中で、個々の在日朝鮮人は、名前を使い分けたり、民族名だけの生活をしようとしたりと、様々な迷いをもって生きているのです。

参考文献

ふらっと 人権情報ネットワーク（認定 NPO 法人ニューメディア人権機構. All Rights Reserved）

世界史の窓（Y-History 教材工房）